

FIRE PREVENTION WEEK

ヒラリー・クリントン、クインシー・ジョーンズ、ハービー・ハンコック、ミシェル・オバマ、ハリソン・フォード、ロビン・ウィリアムズ、ベニー・グッドマン、ジーン・クルーパ、ウォルト・ディズニー、デーブ・スペクター、、、、



共通点はお分かりになりますか？

全員アメリカ合衆国イリノイ州シカゴの出身です。

シカゴでは、1871年10月8日に発生した火災で10月10日までに中心部を完全に破壊し、死者数250人、焼失建物17,500棟、10万人の家を焼き、現在の40億ドル以上の物的損害が発生しています。



当時、キャサリン・オレアリーが牛舎で搾乳しようとした際に牛がランタンをけり倒し出火したことが原因とされました。

焼け野原になったシカゴは、その後急速に巨大近代都市へ進むこととなります。



シカゴ大火40年に際し、改めて火災予防の必要性を一般に広めるために北米ファイアーマーシャル協会の提案に基づいて1911年10月9日にアメリカ合衆国全土にわたる「火災予防デー」が初めて行われ、1922年に「火災予防週間(FIRE PREVENTION WEEK)」が制定されたようです。

日本では、明治時代後期には「火の用心」のビラ配布や防火講演を実施し火災予防を呼び掛けていました。大正15(1926)年9月に、初の全国消防組組頭大会でアメリカの火災予防運動の例に倣って日本でも全国一斉に「防火デー」を設けようとの提案がなされましたが、防火運動は各地で独自に進められていました。

昭和2(1927)年3月7日に、丹後西北部を襲い家屋を広範囲にわたり全半壊若しくは焼失させ死者2992人を出したM7.3の北丹後地震をきっかけに、昭和5(1930)年3月7日に京都、大阪、兵庫、滋賀、奈良の2府3県が参加し、第1回防火運動が近畿地方で実施されています。実施要綱を定めて火災予防講習やラジオによる広報、小学校での火災予防講話、街頭広報、消防演習などが各地で行われました。東京、神奈川、千葉、埼玉、長野、群馬、福島の内1府6県では、12月1日を防火デーと定め府県ごとに一斉の防火運動を行いました。その後も東海地方や九州地方で相次いで防火運動が始められています。

終戦の昭和20(1945)年には、GHQの指示によりアメリカと同じ日の10月21日から1週間を初の全国一斉火災予防運動として行いました。自治体消防制度が発足した翌年の昭和24(1949)年からは春と秋の2回行うようになり、その後も様々な変遷を経て、現在では春の火災予防運動は3月1日から3月7日まで、秋の火災予防運動は11月9日から11月15日までの期間に各自治体を実施しています。

さて、シカゴ大火の当時のアメリカでは人々の間に移民元や移民して来た時代の違いによって、互いに複雑な感情があったようです。出火の原因とされたキャサリンは、貧しいアイルランド系移民のカトリック教徒でした。しかし、この出火原因、実は当時の新聞記者(Republican newspaper in Chicago) による捏造であったことを、同紙記者であったマイケル・アハーンが 1893 年に認めています。

キャサリンは反アイルランド感情が強かった当時のシカゴにおいて格好のスケープゴートにされてしまいました。

これらが事実ならば、人間は古今東西変わらない感情の動物のである証と思われます。

アハーン記者が告白してもキャサリンへの疑惑が払拭されることはなく、オレアリー家には以後も噂がつきまとったまま、キャサリン・オレアリーは 1895 年に亡くなっています。シカゴ市議会がオレアリー家と牛を正式に無罪としたのは 1997 年になってからのことでした。

出火原因は現在も明確に出来ていないようです。



シカゴはニューヨーク、ロサンゼルスに次ぐ大都市であり、禁酒時代にアル・カポネが暗躍した街であった事も相まって数々の映画の舞台になりました。

大火の地であるからか、消防士兄弟の活躍や葛藤と謎の放火犯を追う 1991 年の映画「バックドラフト」もシカゴを舞台にしています。「アポロ 13」「ダ・ビンチ・コード」のロン・ハワード監督、カート・ラッセル、ウィリアム・ボールドウィン、ロバート・



デ・ニーロが出演、音楽は「ブラック・レイン」「グラディエーター」「ミッション:インポッシブル 2」「パイレーツ・オブ・カリビアン」「ラスト サムライ」「ダンケルク」「トップガン マーヴェリック」に作曲作品を持つハンス・ジマーが担当しています。

3 月は、

「春季全国火災予防運動(消防庁)」、「車両火災予防運動(消防庁, 国土交通省)」

「全国山火事予防運動(林野庁, 消防庁)」: 1~7 日、

「女性の健康週間(厚生労働省)」: 1~8 日、

「世界野生生物の日(経済産業省)」: 3 日、

「国際 HPV 啓発デー(厚生労働省)」: 4 日、

「消防記念日(消防庁)」: 7 日です。

(毎月 19 日の「食育の日」もあります。食べ過ぎにはご注意ください。)



< 参 考 >

シカゴ大火 <https://www.webl.io.jp/> <http://dictionary.sensagent.com/> <https://ja.tristarhistory.org/>

東京消防庁 <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/> 消防防災博物館 <https://www.bousaihaku.com/>

政府広報オンライン <https://www.gov-online.go.jp/>

WIKIPEDIA <https://ja.wikipedia.org/wiki/> PIXABAY <https://pixabay.com/ja/>